

日本サンゴ礁学会誌投稿規定

日本サンゴ礁学会誌は、広くサンゴ礁に関する日本語の論文を受け付ける。本学会員外からの投稿も受け付けるとともに、編集委員会から論文の執筆依頼を行うことがある。

投稿論文の種類は、原著論文、原著短報、総説、展望、解説、討論、資料、フォトギャラリー(またはサンゴ礁絵図)とし、投稿される論文はいずれの印刷物にも発表されていないものに限る。

1. 投稿: 原稿は、MS-Word あるいは text 形式で準備し、e-mail の添付ファイルとして下記の編集委員長宛に送付する。投稿の際には、希望する原稿の掲載区分を明記する。

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学理学部生物学科

服田昌之

TEL: 03-5978-5578

E-mail: hatta.masayuki@ocha.ac.jp

投稿された原稿は、編集委員長が内容に基づいて分野別編集委員を選定し、送付する。分野別編集委員は、査読者を選定し、査読者のコメントを参考にして、必要な場合は著者に修正を求め、最終原稿の掲載可否の判断を編集委員長に答申する。編集委員長は原稿の掲載に関する最終判断を下し、著者に結果を通知する。原則として、原著論文・原著短報及び総説の査読者は2名以上、フォトギャラリーの査読者は1名以上とする。展望、解説、討論、資料に関しては編集者あるいは編集委員が査読し、必要な場合は著者に修正を求め、編集委員長に答申する。

投稿を希望される方の事前相談を歓迎する。事前相談をする場合は、日本サンゴ礁学会編集委員長 服田昌之 (hatta.masayuki@ocha.ac.jp) に連絡されたい。

2. 原稿の構成について

原著論文及び総説: 原著論文及び総説の刷り上がりページ数は、原則として12ページ以内とする。

原稿の構成は(1)タイトルページ,(2)要旨,(3)緒言,(4)材料と方法,(5)結果,(6)考察,(7)謝辞,(8)引用文献,(9)表,(10)図の説明,(11)図やプレートとする。

短報: 短報の刷り上がりページ数は、原則として2-4ページとし、結果と考察は分けずに「結果と考察」としてまとめる。

フォトギャラリー(またはサンゴ礁絵図): 科学的に興味深い写真あるいは図と簡潔な説明文で、通常刷り上がり1ページとする。

展望: サンゴ礁に関連するトピックの将来展望を記述する。

解説: サンゴ礁に関連するトピックを詳しく解説して紹介する。

討論: サンゴ礁に関連するトピックについて異なる見解の提示を通じて課題を共有する。

資料: サンゴ礁に関連するデータベースなど、利用価値のある資料とその説明を記述する。

カラー図版の掲載費と超過ページ費: カラー図版の論文 pdf への掲載は無料であるが、印刷して出版する際には印刷費(50,000円～)を著者負担とする。著者が日本サンゴ礁学会の会員の場合は超過ページ

費用は無料であるが、会員外の場合は超過ページの費用は著者負担とする（4,000 円 / 頁）。

3 . 原稿作成について

原稿は A4 版用紙を用いて横書きで作成する。1 行あけとし、2.5cm 以上のマージンをとる。

タイトルページ：タイトルページには、簡潔で分かりやすい表題 Title、著者名 Author(s)、所属 Address、簡略表題 Running head および連絡先 Corresponding author の e-mail address、電話番号、ファックス番号を記す。日本語、英語両方を準備する。

要旨 Abstract：要旨は日本語、英語両方を準備し、研究の理論的根拠、最も重要な結果、そして結論を述べる。

キーワード Keywords：4-6 語のキーワードを要旨の後に記す。日本語、英語両方を準備する。

本文：原則として、「はじめに」、「材料と方法」、「結果」、「考察」、「謝辞」、「引用文献」、「図表の説明」とする。

略字：要旨と本文のそれぞれにおいて、最初に使用する際に定義する。

謝辞：できるだけ簡潔に述べる。ただし助成金を提供した団体名は正式名を記す。

引用文献：引用文献のリストは、本文中で引用した文献（すでに公表されたもの、または受理されたものに限る）のみを含める。私信は本文中でのみ示す。

本文中での文献の引用形式：

(Konishi 1985; Eakin and Glynn 1992; Smith et al. 1995)

Konishi (1985), Eakin and Glynn (1992), Smith et al. (1995)

(山里 1990; 山里・土屋 1993; 山里ら 1998)

山里 (1990), 山里・土屋 (1993), 山里ら (1998)

引用文献の記述方法：以下の要領でアルファベット順に配置する。

Glynn PW, Perez M, Gilchrist SL (1985) Lipid decline in stressed corals and their crustacean symbionts. Biol Bull 168: 276-284

Grassle JF (1973) Variety in coral reef communities. In: Jones OA, Endean R (eds) Biology and geology of coral reefs, Vol: Biology 1. Academic Press, New York, pp 247-270

河名俊男 (1987) 生物群集の成立基盤としてのサンゴ礁地形. 月刊海洋科学 19: 536-544

酒井一彦・西平守孝 (1995) いろいろな種類のサンゴの共存. 西平守孝・酒井一彦・佐野光彦・土屋 誠・向井宏 (共著) サンゴ礁 - 生物が作った生物の楽園, 平凡社, 東京, pp 15-80

図と表：すべての図（写真、グラフ、描画）と表は、本文中で引用し、その順に従って番号を付す。

図は 300dpi 以上の解像度で作成し、jpeg、tiff または pdf ファイルで提出する。図中の文字は Helvetica または Arial を推奨する。倍率はスケールにより示す。図の説明は、簡潔で、図の理解に必要な十分であるものとする。図の説明は日本語、英語両方を準備する。

表は Excel または Word のタブで作成する。表には、タイトルと表中の略語などの説明文を付す。表の脚注は上付きのアルファベット小文字で示す。有意差など統計結果についてはアスタリスクを用いる。表の説明は日本語、英語両方を準備する。

学名：タイトルと本文中の各章の初出では *Galaxea fascicularis* のように完全な学名を用いるが、2 回目

以降は *G. fascicularis* のように属名を略す。分類に関わる内容を含む原稿の場合は、初出では分類者名と年を記すこと（例 *Galaxea fascicularis* Linnaeus 1767）。

4．最終稿の電子ファイルによる提出

著者は、受理された最終稿について、e-mail の添付でファイルを編集委員長に提出する。

5．校正と別刷り

校正と別刷り注文票が連絡著者に送られる。著者による校正は原則として1回とする。著者は校正刷りを受け取ってから指示された期日に印刷のミス点を点検し、編集委員会に返却する。なお校正の際、文章図表の変更は認めない。やむを得ず変更する場合は、実費を徴収する。

論文の pdf ファイルが著者に無料で提供される。日本サンゴ礁学会の会員には50部の別刷りを無料で贈呈する。追加で別刷りを必要とする場合は、校正返却時に注文票に記入して申し込む。

6．著作権

掲載された論文の著作権は日本サンゴ礁学会に帰属する。日本サンゴ礁学会および著者の許諾（書面による）を得ずに原稿を複製することを禁ずる。著者は、本誌に掲載された原稿が他のいかなる言語によっても複製されないことを保証するものとする。

公表された図や本文を本誌に投稿する原稿に使用する場合は、著作権保持者の許諾を得る。

サンゴ礁保全・再生セクション

日本サンゴ礁学会誌は、「サンゴ礁保全・再生セクション」を設け、保全・再生に関わる論文を掲載する。サンゴ礁保全・再生セクションの論文の種類は、通常の原著論文、短報、総説、フォトギャラリー(またはサンゴ礁絵図)に加え、展望、解説、資料、事例紹介とする。展望においては、サンゴ礁保全・再生に関連するトピックの将来展望を記述し、解説においては、サンゴ礁保全・再生に関連するトピックを詳しく解説して紹介し、事例紹介においては、サンゴ礁保全・再生の実践例を紹介し、資料においては、サンゴ礁保全・再生に関連するデータなど、読者の参考になる資料を掲載するものとする。

編集者は、原著論文、短報、総説、フォトギャラリー(またはサンゴ礁絵図)に関して査読者を選定し、査読者のコメントを参考にして、必要な場合は著者に修正を求め、最終原稿の掲載可否の判断を編集委員長に答申する。原則として、原著論文・総説及び短報の査読者は2名以上、フォトギャラリーの査読者は1名以上とする。展望、解説、資料、事例紹介に関しては編集者あるいは編集委員が内容をチェックし、必要な場合は著者に修正を求め、編集委員長に答申する。編集委員長は原稿の掲載に関する最終判断を下し、著者及び編集者に結果を通知する。編集者は、その結果に基づき、受理された最終稿一式について、e-mailの添付でファイルを編集委員長に提出する。

特集セクション

日本サンゴ礁学会誌は、サンゴ礁に関する特定の主題に基づいて特集号を発行する。特集号の発行を希望する場合は、編集委員長宛に企画書を提出する。企画書には、内容の概略、編集者、編集スケジュール、掲載予定の論文の簡単な内容とその著者を記載する。編集委員会で内容を吟味し、特集号の発行の可否を決定する。

特集号の論文の種類は、通常の原著論文、短報、総説、フォトギャラリー(またはサンゴ礁絵図)に加え、展望、解説、資料とする。展望、解説、資料の刷り上がりページ数は、原則として12ページ以内とする。展望においては、特集号の主題に関連するトピックの将来展望を記述し、解説においては、特集号の主題に関連するトピックを詳しく解説して紹介し、資料においては、特集号の主題に関連するデータなど、特集号の一部を構成する価値のある資料を掲載するものとする。

特集号の編集者は、原著論文、短報、総説、フォトギャラリー(またはサンゴ礁絵図)に関して査読者を選定し、査読者のコメントを参考にして、必要な場合は著者に修正を求め、最終原稿の掲載可否の判断を編集委員長に答申する。原則として、原著論文・総説及び短報の査読者は2名以上、フォトギャラリーの査読者は1名以上とする。展望、解説、資料に関しては特集号の編集者あるいは編集委員が内容をチェックし、必要な場合は著者に修正を求め、編集委員長に答申する。編集委員長は原稿の掲載に関する最終判断を下し、著者及び特集号の編集者に結果を通知する。特集号の編集者は、その結果に基づき、受理された最終稿一式について、e-mailの添付でファイルを編集委員長に提出する。

受賞記念論文

日本サンゴ礁学会誌は、学会賞受賞者による受賞記念論文を掲載する。受賞者は、受賞となった内容を投稿規定に基づいて編集委員長に投稿する。編集委員あるいは外部査読者が査読を行い、編集委員長に答申する。編集委員長は原稿の掲載に関する最終判断を下し、著者に結果を通知する。著者は、受理された最終稿について、e-mailの添付でファイルを編集委員長に提出する。